報道関係各位

開催概要

◆名　　称　：ムーミンコミックス展
◆会　　期　：2021 年 9 月 11 日［土］～ 11 月 14 日［日］
◆開館時間　：9:30　～ 17:00（入場は 16:30 まで）
◆休 館 日　：毎週月曜日（9/20 は開館、翌 9/21 は休館）、第4火曜日(9/28、10/26)
◆観 覧 料　：一般￥1,300（￥1,100）／ 高大生￥900（￥700）／ 小中生￥500（￥300）
（ ）内は、前売及び 20 名以上の団体料金
Boo-Woo チケット、チケットぴあ(Pコード　993-144)、ローチケ(Lコード　41330)、
セブンチケット(セブンコード　089-273)、名古屋市博物館ミュージアムショップ

※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用して来館された方は当日料金より 100 円割引。
※障害のある方は手帳の提示、難病患者の方は受給者証の提示により、本人と介護者 2 名まで当日料金の半額になります。
※障害者等割引観覧券は、名古屋市博物館(会期中のみ)、ローソンチケット(会期前から)で販売します。
※各種割引を重複してご利用いただくことはできません。

［主催］名古屋市博物館、東映、中日新聞社、東海テレビ放送、テレビ愛知　［特別協力］ムーミンキャラクターズ社
［協力］ライツ・アンド・ブランズ、筑摩書房　［後援］フィンランド大使館　［コミックス翻訳］冨原眞弓
［アート・ディレクター］大谷有紀　［企画制作］東映　【ムーミンコミックス展公式 HP】https://moomin-comics.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容および会期を変更する場合がございます。最新情報は名古屋市博物館公式ウェブサイト(http://www.museum.city.nagoya.jp)や SNS でご確認ください。

展覧会の概要

ムーミン童話の原作者トーベ・ヤンソン（1914–2001）による漫画・ムーミンコミックスは、イギリスの「イブニング・ニューズ」紙で1954 年より 20 余年にわたり連載されました。主に、トーベが絵とセリフ、弟のラルス（1926–2000）がネタ探しと英訳を担当し、1960 年からはラルス 1 人で漫画を制作。コミックスの連載はムーミンの人気を決定的にしました。本展はコミックスにスポットを当て、キャラクター設定やスケッチ、原画など、日本初公開となる 280 余点を通じて、楽しくも奥深いムーミンたちの豊かな世界の魅力を伝えます。

広報画像 1

■ 作家紹介

トーベ・ヤンソン（1914–2001 年）

フィンランドのヘルシンキに生まれ、15 歳から芸術家としてのキャリアをスタート。絵画家、風刺画家、短編作家としても活躍します。1945 年から 25 年間にわたって書きつづけた「ムーミン」の小説シリーズは世界各国で多くの読者に親しまれています。1954 年、コミックスの連載を始めると、20 か国以上で翻訳・出版され、ムーミンの人気を決定的なものにしました。

トーベ（左）とラルス（右）

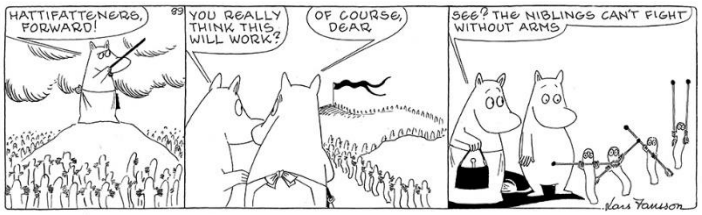
ラルス・ヤンソン（1926–2000 年）

トーベの末弟。15 歳のときに冒険小説『トルトゥーガの宝』でデビュー。ムーミンコミックスの連載が始まると、トーベとともにマンガの制作や英訳に関わり、1960 年から 1975 年は 1 人で連載を続けました。また、TVアニメ「楽しいムーミン一家」では、企画から制作にいたるまで、トーベとともに監修者として関わりました。

広報画像 2

みどころ

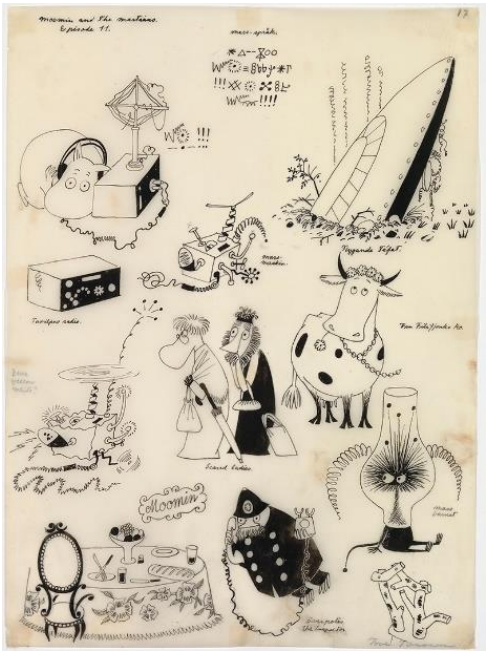
■ ムーミンコミックスってなに？



広報画像 3

ムーミン童話の世界を気楽でコミカルなものとして、時には社会風刺のエッセンスも加えながら、大衆的に馴染みのある漫画で表現したムーミンコミックス。その歴史は、1947年から2年間フィンランドのスウェーデン語系新聞「ニィ・ティド」紙に『ムーミントロールと地球の終わり』が掲載されたことに始まります。1954年になると、イギリスの夕刊紙「イブニング・ニューズ」紙で連載がスタート。姉であるトーベと弟のラルスによる、姉弟ならではの連携プレーでコミックスを手掛けたのです。1960年からはラルス1人で漫画制作を担当し、1975年まで連載は続きました。「イブニング・ニューズ」紙によるムーミンコミックスの連載はイギリスにとどまらず、その年のうちにスウェーデン、デンマーク、そして母国フィンランドの新聞に、さらに最盛期には40カ国以上、120紙に転載されたほどで、その読者も1200万人とムーミンの人気は爆発的なものとなります。20余年にわたり連載が続いたことからも、その人気ぶりは容易にうかがえるでしょう。その波及効果は、すぐにオリジナルであるムーミン童話の児童文学シリーズにも及び、次々に世界各地で翻訳、出版されました。ムーミンコミックスをきっかけに、トーベは児童文学作家としての国際的な名声を不動のものにしたのです。

日本でも2000年から、筑摩書房より「ムーミンコミックス」（訳：冨原眞弓、全14巻）が出版されています。



■ トーベが描いたムーミンコミックスのスケッチ、ラルスの描いた原画が日本初公開！

広報画像 4

本展では、ムーミンコミックス連載にあたり、トーベが描いたキャラクター設定のドローイングやスケッチが出品されます。作品からは、何度も描きなおしたであろうと思われる鉛筆の筆致や、登場キャラクターの多様な描写を見ることができ、コミックス制作における貴重な背景資料といえるでしょう。

また、ラルスが1人で手掛けたムーミンコミックス52作品の中から4作品を選出し、実際に使用した貴重な原画をご紹介します。これらの4作品の内3作品は、日本ではまだ書籍化されておらず、必見です。

これらの今回ご紹介する作品は日本初公開となり、ムーミンファンに限らずどの方にも楽しんでいただける内容です。

広報画像 5

【広報画像】

1. トーベ・ヤンソン「まいごの火星人」スケッチ（1957年）
2. ラルス・ヤンソン「MOOMIN AND THE TEN PIGGY BANKS」原画（1975年）
3. ラルス・ヤンソン「MOOMINS IN BATTLE」原画（1974年）
4. トーベ・ヤンソン「まいごの火星人」スケッチ（1957年）
5. トーベ・ヤンソン「黄金のしっぽ」習作（1958年）

掲載画像は全て ©Moomin Characters™

＜報道関係者各位＞
本展に関わる記事構成は著作権者による確認の為、返信にお時間をいただく場合がございます。期間・回数に余裕をもってお申し込みください。紹介文に下記原稿を変更なく使用される場合は、その限りではありません。

① ５０字原稿
原画やスケッチなど日本初公開となる約２８０点を展示。ムーミンたちの世界をお楽しみください。
（４５字）

② １００字原稿
１９５４年から連載が始まったムーミンコミックスにスポットを当て、原画やキャラクターの設定画など日本初公開となる貴重な約２８０点を展示。楽しくも奥深いムーミンたちの豊かな世界をお楽しみください。
（９６字）

③ １５０字原稿
イギリスの「イブニング・ニューズ」紙で１９５４年から連載がスタートしたムーミンコミックスにスポットを当て、未邦訳のストーリーやコミックスだけに登場するキャラクターなどを紹介。原画やスケッチなど日本初公開となる貴重な約２８０点を通じて、楽しくも奥深いムーミンたちの豊かな世界をお楽しみください。（１４６字）

④ ２００字原稿
ムーミンコミックスは、イギリスの「イブニング・ニューズ」紙で１９５４年から連載がスタート。２０余年続いたコミックスは２０か国以上で翻訳され、今日のムーミン人気につながっています。本展では未邦訳のストーリーやコミックスだけに登場する個性的なキャラクターなどを紹介します。原画やキャラクターの設定画など日本初公開となる貴重な約２８０点を通じて、楽しくも奥深いムーミンの豊かな世界をお楽しみください。（１９７字）

⑤ ２５０字原稿
イギリスの「イブニング・ニューズ」紙で１９５４年から連載がスタートしたムーミンコミックス。１９６０年からはトーベ・ヤンソンの末弟ラルスが１人で漫画を制作するようになります。２０余年続いたコミックスは２０か国以上で翻訳され、今日のムーミン人気につながっています。本展では未邦訳のストーリーやコミックスだけに登場する個性的なキャラクターなどを紹介します。原画やスケッチ、キャラクターの設定画など日本初公開となる貴重な約２８０点を通じて、楽しくも奥深いムーミンの豊かな世界をお楽しみください。（２４３字）

⑥ ３００字原稿
ムーミン童話の原作者トーベ・ヤンソンによる漫画・ムーミンコミックスは、イギリスの「イブニング・ニューズ」紙で１９５４年から連載がスタート。トーベの末弟ラルスは当初から資料集めや英訳を担当していましたが、１９６０年から彼が１人で漫画を制作するようになります。２０余年続いたコミックスは２０か国以上で翻訳され、今日のムーミン人気につながっています。本展ではムーミンコミックスにスポットを当て、未邦訳のストーリーやコミックスだけに登場する個性的なキャラクターなどを紹介します。原画やスケッチなど日本初公開となる貴重な約２８０点を通じて、楽しくも奥深いムーミンの豊かな世界をお楽しみください。（２９２字）

⑦ チラシ原稿

ムーミン童話の原作者トーベ・ヤンソンによる漫画・ムーミンコミックスは、イギリスの「イブニング・ニューズ」紙で１９５４年から連載がスタート。トーベの末弟ラルスは当初から資料集めや英訳を担当していましたが、１９６０年から彼が１人で漫画を制作するようになります。20 余年続いたコミックスは 20 か国以上で翻訳され、今日のムーミン人気につながっています。本展ではムーミンコミックスにスポットを当て、未邦訳のストーリーやコミックスだけに登場する個性的なキャラクターなどを紹介します。キャラクターの設定画や習作、原画など日本初公開となる貴重な約 280 点を通じて、楽しくも奥深いムーミンの豊かな世界をお楽しみください。

(303 字)

Fax（052）853-8400　名古屋市博物館　特別展「ムーミンコミックス展」　広報担当宛

ムーミンコミックス展　広報用作品画像・チケット申込書

特別展　ムーミンコミックス展　2021 年 9 月 11 日（土）→11 月 14 日（日）

広報用画像の使用は、特別展「ムーミンコミックス展」を紹介する場合に限ります。 展覧会終了後の広報画像の使用、または二次利用は固くお断りします。 広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。 広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、許諾が必要となります。 掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記のお問い合わせ先までお送りください。 著作権者による確認のため、返答にお時間をいただく場合がございます。記事校正は回数・期間に余裕を持ってご提出ください。

貴社名　　媒体名　　□紙□Web□放送

〒

ご住所

ご担当者名　　所管部署名

TEL　　FAX

e-mail

ご掲載・放映の予定日が決まっている場合はお知らせください。　→　　年　　月　　日

[個人情報の取扱いについて]　ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合および、今後の催事のご案内に使用します。 許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を 1 点以上掲載し本展をご紹介いただける場合、 読者向けチケット（5 組 10 名分まで）を提供します。

□希望する　　組　　名分　　□希望しない

[※原則として掲載紙・誌（web の場合は掲載アドレス通知のメール）が広報担当に到着し、確認してから発送いたします。]

希望する画像の□に✓してください。

※資料名などの画像のキャプションおよびクレジットは必ず資料 p.3 記載のとおりに、出来るだけ 1 行で表記してください。

1 □

2 □

3 □

4 □

5 □

【お問い合わせ先】名古屋市博物館　学芸課　特別展「ムーミンコミックス展」広報担当　石川、森
〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1
tel:(052)853-2655　fax:(052)853-8400　e-mail:ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp